〈解答〉

1
1　イ
2　[例] A　そうじや洗たくをしていなかった
B　汚い部屋に母親をねかしていた
3　五段活用、終止形（両解）

配点　1　1、3は各2点、他は各3点　10点満点

〈解説〉

1

1　「途方に暮れる」とは、「どうしてよいか分からず、困り果てる」と言う意味の慣用句。傍線部①の直後の5、6行目に、『お父さん、中学一年の道子、小学五年の秋男、だれもまんぞくにごはんのたける人、洗たくのできるものはいなかった』とあり、家族の中でお母さん以外に家事のできる人間はいないので「とほうにくれた」のである。

2　12〜15行目に『おばさんは、手にもったふろしきづつみをほどきもしないで、あたりを見まわすと「どうしたの、この家の人は！」と、どなった。「お母さんをごみの中にねかしておいていいの？」』とある。誰も家事ができないので8行目『よごれ物のつまれた家の中』に病気の妹（お母さん）を寝かせていたことが許せず「はらだちまぎれといったかっこう」で18行目『そうじと洗たくにとっくんだ』のである。

3　「やりなおす」は「やりなおさ」「ない」と未然形はア段で終わるので「五段活用」である。また、「やりなおす」「わ」と終助詞に接続しているので「終止形」である。